

◇令和3年度事業報告

我が国経済は、長期にわたり緩やかな回復傾向が続いてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大は、依然として我が国の社会経済や国民生活へ甚大な影響をもたらしている。バス業界も3年目を迎えた新型コロナ対策の人流抑制等による甚大な影響が引き続いているが、さらに、昨年来の燃料価格高騰も加わって、危機的な状況が深刻さを深めている。

バス事業は、地域住民の生活の足として、また地域振興に必要不可欠な公共交通機関として、地域社会の健全な発展のために重要な役割を果たしてきているところでもあります。

一方、長期高齢社会を迎えての高齢者や障害のある人々が自立して社会生活を送っていくうえでの安全に移動し社会参加するための阻害要因を除去し、快適で生活しやすい環境の基盤を整備することも必要であり、すべての人が安全に移動し社会参加ができるように「人にやさしいバス輸送」への対応が求められています。さらには、地球温暖化ガスの削減や大気環境の改善は喫緊の課題であり、「環境にやさしいバス輸送」への対応が求められてきているなど、バス事業の役割はこれまで以上に重要になってきており、期待されているところでもあります。

乗合バス事業は、大都市部はここ数年堅調に推移しておりましたが、コロナ禍により赤字に転じ、地方部ではコロナ禍以前から過疎化の進展などにより大変厳しい経営状況が続いており、バス路線の維持が大きな課題となっています。一方、貸切バス事業は、軽井沢スキーバスの事故を受け、安全対策の強化に取り組んでおり、安全コストを含んだ新運賃・料金制度の下で経営基盤の健全化が進んでおりましたが、こちらもコロナ禍により、需要のほとんどが消失している状況にあります。また、乗合バス、貸切バスともに運転者不足の問題を抱えています。

このような事業環境の中、地域住民の生活交通の確保、安全輸送対策、環境対策、交通バリアフリー対策を含めた輸送サービスの改善、地震防災対策、情報技術の進展への対応等、バス輸送の取り組むべき課題が山積する状況の中にあって、これらの課題の多くがバス事業者の自主的な取り組みだけで対応することは極めて困難な状況にあり、とりわけ、事業の根幹に関わる事故防止等の安全対策は、重要な課題であります。

軽井沢スキーバス事故は社会に大きな衝撃を与え、再発防止策である「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」に基づき、国土交通省が着手した各種安全対策が実施されています。当協会としても更なる貸切バスの安全確保の徹底を図り、利用者の信頼回復を図ることとしています。

新型コロナウイルス感染症への対応については、会員事業者は、関係当局の指導のもと、日本バス協会が作成した「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」等に基づき、乗務員に対して点呼時の体調確認はもとより、手洗い、マスクの着用、消毒液の装備等についても徹底し感染予防に努めました。また、乗合バス、貸切バスが依然として大変厳しい状況であることを踏まえ、当協会として、愛知県へコロナ禍による減収分の補填の支援要望を行うとともに、「バスの感染防止対策PRイベント」を開催するなどして安全性、利便性について利用者向けPRを行いました。

当協会は、「安全にして安定した輸送サービス」を目標に掲げ、業界の意見を外部に反映させながら、種々の問題に対応して事業の活性化と利用の促進を図り、地域社会から信頼される公共交通機関としての使命を達成していくため、運輸事業振興助成交付金及び会費を財源として、公益社団法人日本バス協会と連携しながら、効果的なバス輸送の振興を推進するため、令和3年度においては下記の各種事業をそれぞれ実施いたしました。

記

1. バス事業の調査研究、知識の普及事業

(1) 各種委員会における調査研究、知識普及事業

① 事故防止委員会

令和3年11月15日に第1回事故防止委員会を開催し、愛知運輸支局保安担当専門官から事業用自動車総合安全プラン2025中部ブロック取組計画Mission1st運動の推進として、「点呼・飲酒について」の講演をいただいた。

令和4年2月16日に第2回事故防止委員会を開催し、愛知運輸支局保安担当専門官から第1回と同じく同プランの取組の推進として「点呼は安全運行の要」、また全国健康保険協会愛知支部担当官から「健康起因事故を防止するための職場の健康づくり」の講演をいただいた。

②貸切バス実務委員会

コロナ禍の影響継続により多人数での長時間にわたる会議実施が困難と考えられたため、第1回を令和3年8月27日、第2回を令和4年3月3日いずれも書面により開催した。

第1回は「貸切バス事業者の法令遵守・感染対策の徹底等について」「働きやすい職場認証制度について」等を議題に、第2回は「名古屋駅貸切バス乗車システム利用料金の改定について」「2022年度貸切バス事業者安全性評価認定制度の申請案内」等を報告した。

(2) 中部運輸局主催会議への参加

①自動車事故防止セミナー2021への参加

令和4年1月27日に中部運輸局主催の自動車事故防止セミナー2021「ICTがもたらす事故防止の未来」に協賛し、バス事業者とともに参加した。

②中部バス事業人材確保・育成対策会議への参加

平成26年7月に国土交通省にてとりまとめられた「バスの運転者の確保及び育成に向けた検討会とりまとめ」を踏まえ、行政とバス事業者等が一体となってバスの運転者の確保及び育成に向けた対策を推進することを目的とした中部運輸局主催の第9回中部バス事業人材確保・育成対策会議にバス事業者とともに参加し、各事業者、各県バス協会の取り組みと各運輸支局の取り組みについて報告し意見交換を行った。

2. 安全輸送体制の確保事業

バス事業者を対象として、安全運行に資する事業に対し助成を行うとともに、運行に係る法制度等の周知、交通安全、輸送の安全対策を目的として各種説明会、講習会を実施した。

また、キャンペーン等を通じて、一般市民に対して交通安全意識の啓蒙を図った。

(1) 安全運行に資する事業に対する助成事業

①運転者適性診断受診助成事業

バスの運転に関する長所、短所といった「運転のクセ」が様々な測定により見いだされ、それぞれのクセに応じたアドバイスを受けることで、交通事故防止に活用できる運転者適性診断を受ける事業者に対して、そ

の受診費用の助成を実施した。

②睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査助成事業及び脳検診助成事業

運転者の体調急変等の健康に起因する事故が数多く発生しており、利用者の安全確保のため、運転中の発症に至るリスクをできるだけ低減する取組として、睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査及び脳検診を行う事業者に対して助成を実施した。

③安全運行対策設備等整備助成事業

ドライブレコーダー、アルコール検知器、衝突被害軽減ブレーキ、モバイルアイ、補助ステップ等の整備を行う事業者に対して助成を実施した。

④バス運転者の大型二種免許取得養成助成事業

安全にして安定した輸送サービスを継続していくためには、持続的に質の良い運転者を確保していくことが必要であるため、バス運転者を自社養成(大型二種免許取得)した事業者に対して助成を実施した。

(2)説明会・研修会(指導研修事業)の実施

①指導研修事業

運行管理者講習会、安全マネジメントセミナー、運行管理者試験対策講習等を行い、過労運転や健康に起因する事故防止等、健康管理について講演をいただき運行管理者の資質向上を図るとともに利用者の安全確保に努めた。

②貸切バス安全性評価認定取得促進助成事業の実施

「貸切バス安全性評価認定制度」は、貸切バス事業者の安全性や安全の確保に向けた取組状況を評価・公表することで、バスの利用者や旅行会社がより安全性の高い貸切バス事業者を選択しやすくするとともに、本制度の実施を通じ、貸切バス事業者の安全性の確保に向けた意識の向上や取り組みの促進を図り、より安全な貸切バスサービスの提供に寄与することを目的として設けられた制度である。

この制度の普及を図り認定取得を支援するため、認定申請を行ったバス事業者への助成事業を実施した。

③バス事業に関する適正化事業

国の監査を補完するものとして一般財団法人中部貸切バス適正化センターが設立され、令和3年4月より巡回体制の一元化により会員・非会員すべての事業場の巡回指導が開始されたことから、新たに創設した「適正化事業実施機関負担金助成事業」に基づき、会員が納付する一般貸切旅客自動車運送事業適正化実施機関への負担金の一部を助成した。

④運転者職場環境良好度認証制度（働きやすい職場認証制度）

この認証制度は認証基準が明確でないことなどの懸念があるため、当面運用状況を見守ることとしていたが、第一段階である「一つ星認証」に係る基準の見直しにより、事業者の負担軽減や提出書類の簡素化が図られた。本認証を取得することにより、良好な職場環境づくりに取組んでいる事業者として広く社会に認知される機会が得られることから、あらゆる機会をとらえて会員に制度の普及について周知した。

(3) キャンペーン事業

バスターミナル、営業所、車内等へのポスター掲示や、行政機関(国、県(含県警本部))、関係団体と協働による街頭での一般市民へのチラシやグッズの配布及び、市町村窓口でのチラシ配布等により交通事故防止キャンペーン事業を実施した。

また、安全性確保の検討が必要となるバス停留所について、行政機関と連携してリストの公表やバス利用者に向けた啓発活動を実施した。

- ①車内事故防止キャンペーンの実施
- ②春、夏、秋、年末年始交通安全運動の実施
- ③交通安全街頭活動への参加
- ④安心・安全なバス利用の啓発活動の実施

3. 環境対策の推進事業

バス事業者を対象として、環境対策の推進に資する事業に対し助成を行うとともに、地球温暖化防止対策に対処するため、人と環境にやさしいバスに関するキャンペーン活動を実施した。

(1) 環境対策に資する助成事業

デジタルタコグラフ等を導入する事業者に対して助成を実施した。

(2) グリーン経営認証制度の普及及び認定取得助成事業の実施

バス事業者の環境対策への取組状況を評価・公表することで、バスの利用者や旅行会社が環境対応事業者を選択しやすくするとともに、本制度を通じ、バス事業者の環境対応への意識の向上や取り組みの促進を図るとともに制度の普及を図った。

認定取得助成事業については、令和3年度は応募がなかった。

(3) キャンペーン事業

エコドライブやアイドリングストップなど地球温暖化防止の取り組みについて周知するため、バスターミナル、営業所、車内等へのポスター掲示、行政機関（国、県(含県警本部)）、関係団体との協働による一般市民へのチラシ及びグッズの配布及びホームページの掲載等により以下のキャンペーン事業を実施した。

- ①エコドライブキャンペーン
- ②アイドリングストップキャンペーン
- ③グリーン経営認証制度の認定取得・活用キャンペーン

4. バス輸送改善推進事業

バス輸送サービス改善を図るための輸送施設整備事業を、国、地方自治体、バス事業者が共同で行う取組及び、バス事業者が単独で行う取組に対して助成を行った。また、バス事業者の担当者のレベル向上を図るためCS（顧客満足）講習や関係団体等啓蒙用のチラシの配布などを行ってバス利用促進等広報事業を行った。

(1) 輸送施設整備に対する助成事業

地域住民の生活の足として必要不可欠な公共輸送機関であるバス輸送サービスの改善を図るとともに、バリアフリー化等による高齢者、障害者等交通弱者の社会参加の阻害要因を除去することにより、バス事業の活性化を図るため、国、地方自治体、バス事業者を含めた関係者が共同して実施、又はバス事業者が単独で実施するバス情報システム、カードシステム、バスターミナル内のバリアフリー化、パーク&ライド・サイクル&ライドシステム、超低床ノンステップバス、低公害バス等の導入整備に対して助成を行った。

(2) CS（顧客満足）講習会の開催

令和4年3月8日にバスガイド・窓口係員等を対象にCSセミナーを開催し、「的確にコミュニケーションを図る接客技術について」講演をいた

だいた。

(3) バス利用促進広報及びイベント事業への支援

マイカーからバスへ乗り換え（モーダルシフト）を促進するために、街頭にて「バスの日」利用促進PR活動を令和3年9月17日に名駅周辺で実施する計画で準備を進めていたが、コロナが急拡大したため開催を断念、しかしながら、バスの日（9月20日）を中心に、愛知、静岡、岐阜、三重、福井5県のバス協会の協働又は単独による日刊紙、専門誌を通じた広報、バスターミナルや営業所でのポスターの掲示、バスターミナルや営業所、車内掲示用及び事業者と自治体が連携して行うバスに親しむことを目的としたバス乗り方教室に啓発品を配布するなどバス利用促進等広報事業を行った。

5. 中央団体出捐事業

本協会の全国団体である公益社団法人日本バス協会（以下「日本バス協会」という。）が、中央事業として実施する輸送施設整備事業、人と環境にやさしいバス普及事業等の費用について出捐する事業については、平成25年度から日本バス協会は出捐事業を実施しないこととなったため、令和3年度も当該額を当協会の事業の実施に充てた。

6. バス利用者への情報提供事業

本協会のホームページにより、バス運転士採用情報及び貸切バス運賃料金制度の周知「お客様の安全のために貸切バスの運賃・料金の制度が変わりました」並びに乗合バス、貸切バス、高速バス、空港アクセスバスに係る情報提供を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策の特設サイトを追加し、各種対策の利用者に対するアピールを行った。

7. その他事業

(1) 会員向けへの情報提供等の事業

① 加入促進事業

公益事業の適正かつ効率的な推進を図るため、ホームページに協会の概要等を掲載するとともに会員を通じてバス事業者への加入の呼びかけを行うとともに、事務局への来訪者に対しては総会資料等の説明を行い、随時入会を促すなど広くバス事業者に協会加入の呼びかけを実施した。

②情報を提供する事業（緊急連絡網による情報の提供事業）

会員に対して旅客誘致の観点からの情報提供を随時行った。

また、緊急連絡網は、協会・会員間の日常的な通達、連絡、調査等に加え、バスジャック防止対策及びテロ対策はもとより、津波や地震情報の早期伝達による災害防止対策や、「児童生徒等見守りネットワーク連絡会議」（愛知県教育委員会）への参画により進めている不審者情報の取得、情報提供による被害防止、問題解決への対応等幅広く活用している。

③優秀運転者表彰

優秀運転者表彰制度は、10年、15年、20年、25年、30年等永年の無事故・無違反による運転業務を続け、バス利用者のみならず、一般市民に対しても安全・安心なサービスの提供をしてきたことに対する評価による表彰であり、このことが他の運転者の模範として励みになり、これまで以上に安全・安心なサービスを心がけるよう啓蒙を図るために表彰事業を行った。

(2) 関係機関への要望及び調整

①制度改正及び法への適切な対応

以下の対応を行った。

- ア 乗合バス事業、貸切バス事業に関する要望及び制度改正に伴う具体的な運用に関する問題点の改善に係る関係機関への要望
- イ 税制改正に関する要望
- ウ 交通バリアフリー法に基づく対策促進と関係機関との調整

②バス事業補助制度の拡充及び適切な運用のため関係機関と調整

生活交通確保のための公的補助、地域交通活性化・再生等に必要な補助財源の確保と適正な執行のために関係機関との調整を行った。

③貸切バス事業の適正利用促進への適切な対応

貸切バス事業の利用に関する旅行業界、国、地方自治体、経済団体、関係機関等との連携による違法行為の排除、適正運賃收受など適正な旅行の振興、利用促進に向けての調整を、中部運輸局の協力をいただき行った。また、貸切バス適正化センターが行う巡回指導に協力を行った。

④中部国際空港バスターミナル運営協議会事業等への参画、運営

中部国際空港バスターミナル運営協議会（構成員：関係バス事業者、関係各県バス協会）に参画し、その運営（事務局、管理事務所の無償貸与）を行った。

また、中部国際空港貸切バス駐車場等の管理運営を、外部委託により行った。

⑤名古屋駅貸切バス乗車システム運営協議会への参画、運営

名古屋駅貸切バス乗車システム運営協議会（構成員：愛知県バス協会、旅行業協会（JATA、ANTA）、関係バス事業者）に参画し、その運営（事務局）を行った。

(3) 行政への協力

①愛知県バス対策協議会、地域公共交通会議等への参画

バス路線の公的補助による地域社会に適したバス交通の確保事業を協議する会議、市町村が主となって運行するコミュニティバスをはじめとする地域公共交通に関する検討を行う会議等に参画した。

②エコモビリティライフ推進協議会への参加

愛知県に設置されたエコモビリティライフ推進協議会に参画し、エコモビリティライフ推進運動の取り組みを行った。

③地震防災対策への協力

令和3年12月17日に、愛知県防災対策に係るライフライン関係機関連絡会に参加し、南海トラフ地震等の大規模災害により鉄道の運行ができなくなった場合の代替輸送による交通手段の確保等に関して意見交換を行った。

また、緊急連絡網を通じて国、県との情報提供を行えるシステムを構築しており、バス事業者への危険情報を速達し、津波や土砂崩れ等の被災の防止に対応した。

8. 業務報告主要事項

(1) 会員数 99事業者（令和4年3月31日現在）

(2) 会員の異動

○ 加 入 1事業者（承認日）

聖観光株式会社（令和4年1月24日付）

○ 退 会 1事業者

宝交通株式会社（令和3年4月16日付）

(3) 役員	会長	1名	副会長	2名
	理事	11名	専務理事	1名
	監事	3名		

(4) 内部会議	総 会	1回
	理 事 会	4回
	交付金運用委員会	2回
	事故防止委員会	2回
	貸切バス実務委員会	2回
	そ の 他	12回

(4-1) 総 会（定時総会）

令和3年6月3日 「名鉄グランドホテル」において

議 題

第1号議案	令和2年度事業報告（案）について
第2号議案	令和2年度決算報告（案）について
第3号議案	令和3年度会費納入の特例措置（案）について
第4号議案	任期満了による全役員の改選について

【報告事項】

- (1) 新入会会員について
- (2) 令和3年度事業計画について
- (3) 令和3年度収支予算について

(4-2) 理 事 会

○ 第1回理事会

令和3年5月14日 「名鉄グランドホテル」において

議 題

第1号議案	令和2年度事業報告（案）について
第2号議案	令和2年度決算報告（案）について
第3号議案	任期満了による全役員の改選について

第4号議案 令和3年度定時総会の開催及び提出議題について
【報告事項】

(1) 令和2年度事業実施報告について

○ 臨時理事会

令和3年6月3日 「名鉄グランドホテル」において
議 題

第1号議案 任期満了による全役員の改選について

○ 臨時理事会

令和4年1月24日 「名鉄グランドホテル」において
議 題

第1号議案 会員加入の承認について

第2号議案 東海道新幹線の輸送障害時における、救援バス手配
に関する協定書の締結について

【報告事項】

(1) 令和3年度事業実施状況及び事業予定について

○ 第2回理事会

令和4年3月25日 「名鉄グランドホテル」において
議 題

第1号議案 令和4年度事業計画（案）について

第2号議案 令和4年度収支予算（案）について

第3号議案 令和4年度会費納入の特例措置（案）について

【報告事項】

- ・ 2月26日開催 バスの感染防止対策PRイベントについて
- ・ 令和3年度事業実施状況について

(4-3) 交付金運用委員会

○ 第1回委員会

令和3年4月21日 「名鉄バス株式会社会議室」において
議 題

(1) 運輸事業振興助成交付金勘定 令和2年度収支決算(案)
について

○ 第2回委員会

令和4年3月16日 「名鉄バス株式会社社会議室」において
議 題

- (1) 運輸事業振興助成交付金勘定 令和4年度事業計画(案)について
- (2) 運輸事業振興助成交付金勘定 令和3年度事業計画変更について

※ 運輸事業振興助成交付金事業

〈令和3年度交付金交付決定〉令和3年4月1日

〈総事業費〉

輸送の安全の確保に関する事業	27,919,258円
サービスの改善及び向上に関する事業	17,037,648円
公害防止・地球温暖化の防止その他の 環境の保全に関する事業	832,100円
適正化に関する事業	2,609,000円
共同設備の整備・運営に関する事業	2,000,000円
計	50,398,006円

〈交付金充当額〉 49,864,000円

〈事業概要〉会計報告書のとおり

(4-4) 事故防止委員会

○ 第1回委員会

令和3年11月15日 「AP名古屋」において
講 演

- (1) 事業用自動車総合安全プラン2025中部ブロック取組計画Mission1st運動の推進について
「～点呼・飲酒～」

中部運輸局愛知運輸支局保安担当 落合専門官

その他

「適性診断測定プログラム(ナスバネット)」について

独立行政法人自動車事故対策機構名古屋主管支所

○ 第2回委員会

令和4年 2月16日 「AP名古屋」において

講演

(1) 事業用自動車総合安全プラン2025 中部ブロック取組計画Mission1st運動の推進について

「～点呼は安全運行の要～」

中部運輸局愛知運輸支局保安担当 落合専門官

(2) 「健康起因事故を防止するための職場の健康づくり」

全国健康保険協会愛知支部 樋谷主任

議題

(1) 「第59回愛知県バス協会長優秀自動車運転者表彰候補者」審査について

(4-5) 貸切バス実務委員会

○ 第1回委員会（書面開催）

令和3年 8月27日

議題

(1) 貸切バス事業者の法令遵守・感染対策の徹底について

(2) 働きやすい職場認証制度について

(3) 令和3年度協会会員向け各種助成【概要】について

○ 第2回委員会（書面開催）

令和4年 3月3日

報告事項

(1) 名古屋駅貸切バス乗車予約システム利用料金の改定について

(2) 貸切バス利用促進イベントの実施について

(3) 2022年度貸切バス事業者安全性評価認定制度の申請案内

○ その他

貸切バス事業者講習会（中部運輸局と共催）

参加者53名

令和3年 6月16日 「名古屋港ポートビル」において

講演

(1) 「令和元年度～2年度における巡回指導実施結果について」

一般財団法人中部貸切バス適正化センター 杉本事務局長
(2) 「貸切バスの輸送の安全確保の徹底について」

中部運輸局自動車技術安全部保安・環境課 藤井専門官

- (4-6) 運輸安全マネジメントセミナー 参加者 57名
令和4年 3月29日 「名古屋東京海上日動ビル」において
講演
「運輸安全マネジメントセミナー(ガイドラインセミナー)」
東京海上ディーアール(株) 田畑主席研究員
- (4-7) 運行管理者安全講習会(愛知岐阜三重県合同開催) 参加者 169名
令和3年 9月21日 「オンライン開催 (ZOOM)」
講演
・ 運行管理者向けセミナー
「運行管理者業務における文書作成の基本セミナー」
東京海上ディーアール(株) 亀井上級主席研究員
- (4-8) 安全教育セミナー(愛知岐阜三重県合同開催) 参加者 24名
令和4年 2月 1日 「名古屋東京海上日動ビル」において
講演
・ 経営管理部門向けセミナー
「運輸安全マネジメントにおける内部監査のポイント～入門編～」
東京海上ディーアール(株) 亀井上級主席研究員
- (4-9) CS(顧客満足)セミナー 参加者 27名
令和4年 3月 8日 「ウィンクあいち」において
講演
・ 「的確にコミュニケーションを図る接客技術について」
Hosnico 馬木講師
- (4-10) 救命講習会 参加者 20名
令和4年1月14日 「愛知県自動車会館」において
講習内容
・ 「成人に対する心肺蘇生法」、「AEDの取扱い方法」他

(4-11) 運行管理者試験対策講習

- 第1回 参加者 67名

令和3年 7月 6日 「ウインクあいち」において

講習内容

- ・ 導入、受験の心得
- ・ 道路運送法、道路運送車両法
- ・ 道路交通法、労働基準法、実務上の知識等

- 第2回 参加者 49名

令和4年 1月 25日 「ウインクあいち」において

講習内容

- ・ 導入、受験の心得
- ・ 道路運送法、道路運送車両法
- ・ 道路交通法、労働基準法、実務上の知識等

(5) 外部会議	中部運輸局関係	6回
	愛知運輸支局関係	10回
	日本バス協会関係	8回
	中部バス協会関係	9回
	自動車会議所関係	5回
	交通安全関係	4回
	観光・旅行業関係	9回
	道路関係	6回
	環境関係	2回
	防災関係	6回
	愛知県バス対策協議会	3回
	地域公共交通会議	
	及び活性化・再生協議会	104回
	その他	34回

(5-1) 愛知県バス対策協議会

- 第1回幹事会（書面開催）

令和3年 6月17日

議 題

- (1) 愛知県バス対策協議会設置要綱の一部改正について（協議事項）
- (2) 令和4年度地域間幹線系統への位置付け申し出路線に係る対応案について（協議事項）
- (3) 令和4年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の策定について（協議事項）

○ 第2回幹事会

令和3年 8月10日 「愛知県自治センター」において

議 題

- (1) 「令和3年10月1日付廃止」申し出路線に係る対応（案）について（協議事項）
- (2) その他

○ 第3回幹事会（書面開催）

令和4年 1月18日

議 題

- (1) 令和3年度地域間幹線系統確保維持計画に係る事業評価について（協議事項）
- (2) 令和5年度地域間幹線系統への位置付け申し出路線について（協議事項）
- (3) 愛知県地域公共交通計画の策定について（報告事項）

(5-2) 中部国際空港バスターミナル運営協議会

○ 通常総会

令和3年 6月29日 「名鉄バス株式会社社会議室」において

議 題

- ・第1号議案 令和2年度会計報告及び会費の精算について
- ・第2号議案 令和3年度収支予算(案)及び概算会費について
- ・その他 令和3年度「共同施設の設置・運営に関する事業」について（報告）他

○ 理事会

令和3年10月7日 「名鉄バス株式会社会議室」において
議 題

- ・第1号議案 中部国際空港株式会社との契約変更について
- ・第2号議案 令和3年度下期中部国際空港バスターミナル運営協議会会費について
- ・第3号議案 令和4年度中部国際空港バスターミナル運営協議会会費について
- ・その他 「従量制に伴う運行本数報告」について（報告）他

(5-3) 名古屋駅貸切バス乗車システム運営協議会

○ 理事会（書面開催）

令和3年8月24日

議 題

- ・第1号議案 令和2年度決算報告（案）について
報告事項
- ・名古屋駅貸切バス乗車予約センターの現状について

○ 臨時理事会（書面開催）

令和4年1月28日

議 題

- ・第1号議案 名古屋駅貸切バス乗車システムインターネット予約の利用料金（システム運用負担金）改定について

(6) 表彰式	中部運輸局長表彰	1回
	愛知運輸支局長表彰	1回
	協会長表彰	
	（新型コロナウイルスの影響により中止）	
	交通栄誉章「緑十字金章、銀章」	1回
	中部管区警察局長表彰	1回
	交通栄誉章「緑十字銅章」	1回
	愛知県警察本部長表彰	1回
	愛知県高速道路交通安全協議会表彰	1回

○ 優秀自動車運転者バス協会長表彰受賞者（第59回）

受賞者	30年以上	4名
	25年以上	11名
	20年以上	17名
	15年以上	38名
	10年以上	78名
	計	148名

《事業者別優秀自動車運転者表彰者数》

事業者名	30年	25年	20年	15年	10年	合計
名鉄バス(株)	1			11	17	29
名古屋市交通局			3	8	28	39
豊鉄バス(株)			2	1	11	14
知多乗合(株)				2	1	3
名鉄観光バス(株)	1	7	7	14	7	36
名阪近鉄バス(株)					2	2
豊鉄観光バス(株)	2	3	2			7
名古屋滋賀交通(株)			2	1		3
ジェイアール東海バス(株)		1		1	8	10
(株)ナゴヤシップサービス					1	1
あいち交通(株)			1			1
名古屋国際観光バス(株)					3	3
総計	4	11	17	38	78	148

(7) 新型コロナウイルス感染症への対応

○ 感染予防、経営支援、需要喚起策等における要望活動

・令和3年4月6日 愛知県知事宛

「新型コロナウイルスのワクチン接種に係るバス車両の活用について」

・令和3年5月31日 愛知県知事宛

「新型コロナウイルス感染症拡大によるバス事業者への支援要望について」

○ バスの感染予防対策PRイベント

・令和4年2月26日 「蒲郡駅前」において

・愛知県バス協会、愛知運輸支局共催 蒲郡市、バス事業者協力

- ・貸切バスの体験乗車（170名乗車）
運行中、車内での換気性能実演ビデオ視聴、乗務員、バスガイドの
日頃の感染対策の取組み説明、実演 等
- ・啓発チラシ、啓発グッズの配布（1000セット）

(8) 貸切バス新規許可等申請状況（令和3年度）

① 事業者数 132者（令和4年3月31日現在）

② 貸切バスの事業者数・車両数

	事業者数 (者)	車両数 (両)			
		大型	中型	小型	合計
令和2年度 (R3.3末)	134	1,249	261	584	2,094
令和3年度 (R4.3末)	132	1,233	245	565	2,043
前年比	-2	-16	-16	-19	-51

③ 新規許可 (件)

区分	前年未処理	申請	許可	却下・取下	未処理
新規	0	2	2	0	0

[処理事案]

- ・令和3年6月17日 許可
申請者 船見美和（和観光）
営業所 碧南市三度山町4丁目40番地
事業用自動車 大型4両、小型1両
- ・令和3年9月9日 許可
申請者 株式会社 愛知ドリーム
営業所 愛知県尾張旭市東栄町一丁目14番地4コーポ日勝3F
事業用自動車 中型1両、小型2両

④ 区域拡大（県内営業所新設を伴う案件） (件)

区分	前年未処理	申請	許可	却下・取下	未処理
区拵	0	0	0	0	0

⑤ 譲渡譲受 (件)

区分	前年未処理	申請	許可	却下・取下	未処理
譲受	0	1	1	0	0

[処理事案]

・令和3年8月17日 認可

申請者 瀬戸自動車運送 株式会社

(株式会社イトー急行より譲受)

営業所 愛知県瀬戸市品野町6丁目1001番

事業用自動車 大型1両、中型2両、小型3両

(9) 貸切バス事業の撤退状況 (令和3年度)

①事業廃止・・・2者

・株式会社 山海館

・株式会社 美浜観光サービス

②区域縮小 (県内営業所廃止に伴う事案)・・・2者

・東部交通 有限会社

・天嶼国際 株式会社